

2026年1月8日
株式会社かんぽ生命保険

CDP 2025 「気候変動」分野で、最高評価の「Aリスト」企業に選定

株式会社かんぽ生命保険（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 谷垣邦夫、以下「かんぽ生命」）は、国際的な非営利団体であるCDPが実施する2025年度の環境活動評価において、「気候変動」の分野における取り組みおよび包括的な情報開示が評価され、最高評価の「Aリスト」企業に選定されました。



CDPは、環境課題への取り組みに関する企業や自治体の情報開示を促進する団体です。2025年は、22,100社を超える企業がCDPの質問書に回答しており、そのうち20,000社がスコアを付与されました。そのうち最高評価である「Aリスト」は、リスク管理、目標設定、取り組みの実施状況、情報開示などにおいて、特に優れた企業に付与されるものです。

かんぽ生命は、「豊かな自然を育む地球環境の保全への貢献」をマテリアリティ（重要課題）のひとつに掲げ、2050年のカーボンニュートラル実現にむけて、環境に配慮した持続可能な事業運営を推進しています。具体的には、オフィスで使用する電力の再生可能エネルギーへの切り替えや社用車におけるエコカーの導入など、温室効果ガス排出量の削減に努めています。また、資産運用においては、イニシアチブ等を通じた意見発信や政策当局への働きかけ、投融資先とのエンゲージメント活動等を通じて、投資ポートフォリオの脱炭素化を推進しています。

かんぽ生命は、これからもお客さまの人生を保険の力でお守りするという社会的使命を果たすとともに、サステナビリティ（持続可能性）をめぐる社会課題の解決に貢献し、当社の持続的な成長とSDGsの実現を目指します。

<参考>

■ CDPについて

CDPは、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営する国際的な非営利団体です。CDPの質問書は、ISSBの気候基準であるIFRS S2への整合をはじめ、重要な情報開示基準やベストプラクティスをひとつのフレームワークに統合しています。また、CDPは世界最大の企業環境データセットを保有しており、ネットゼロ、サステナブル、アースポジティブな世界経済を支える投資や調達に関するガイダンスにより、投資家や企業から広く信頼を得ています。

<https://www.cdp.net/ja>

■サステナビリティサイト

かんぽ生命のサステナビリティ活動を紹介しています。

<https://www.jp-life.japanpost.jp/aboutus/sustainability/index.html>